



芦北町議会だより うたせ

第36号

平成26年
2月14日 発行



専修大学玉名高等学校マーチング

第10回 芦北町音楽祭 (1月26日(日) しろやまスカイドーム)

- 1 2 月定例議会…………… P 2～3
- 一般質問…………… P 4～11
- 研修報告…………… P 12～13
- 議会のうごき・編集後記…… P 14



芦北町吹奏楽団コンサート

12月定例議会



主な質疑

質

子ども・子育て会議委員報酬の中で、年何回の会議がなされる予定なのか。

答

会議は、3月までに2回を予定している。

質

住宅用太陽光発電システム設置費補助金について、具体的に説明願いたい。

答

当初予算は40件分の560万円。22件分を追加した。

質

芦北町木造住宅建築支援事業補助金について、大幅な補正であるので、具体的に説明願いたい。

答

当初予算は20件分の1、764万1千円。追加11件、予備3件を含め、1、462万1千円の増額になった。

質

県道水俣田浦線の福浦工区で、道路改良工事に係る公有水面埋立について、県から地域への住民説明会等の周知はどのようなになっているか。

答

平成24年11月8日に、地元への改良計画について説明をしてある。

人権擁護委員に推薦



氏 光 義 木 鎌
(湯浦)

平成20年4月1日から委嘱され、現在3期目。

補正予算を可決

一般会計・特別会計を合わせて **3,905万円追加**

会 計 名		補 正 額 (増額)	補 正 後 の 総 額
一 般 会 計		3, 114万円	101億4, 013万円
特別会計	農業集落排水事業	163万円	2億2, 313万円
	町 有 温 泉 事 業	628万円	1億2, 758万円

一般会計補正予算(増額)の主な内容

- ・ 住宅用太陽光発電システム設置費補助金 **308万円**
- ・ 子ども・子育て支援事業 **468万円**
- ・ 芦北町木造住宅建築支援事業補助金 **1, 462万円**
- ・ 漁業協同組合合併支援事業補助金 **1, 100万円**
- ・ 橋りょう改良工事 **382万円**
- ・ 家庭排水路整備事業補助金 **354万円**
- ・ 公共土木施設災害復旧工事 **475万円**

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意



いし いちゅうや
石井忠也氏
(花岡)



ふくやまかつとし
福山功敏氏
(豊岡)



はまさき たけし
濱崎 猛氏
(田浦町)

計石小学校跡の利用計画は！



宮内議員



計石小学校跡

質

平成24年3月31日付をもって閉校となった計石小学校跡の活用について、検討が行われて来ていると思うが、現在までの検討結果はどのようなになっているのか。

答

町長

計石小学校跡の活用については、計石港に隣接する立地条件から、町の観光の柱である観光うたせ船と連携した活用を検討している。

答

商工観光課長

平成24年度にうたせ船の問題と併せ、計石港一帯の活性化策を検討する組織として、「うたせ漁師村整備検討委員会」が発足し、その中で検討が行われた。今後提言書が提出される予定であるので、提言書を考察のうえ、うたせ船の振興と計石港一帯の様々な方策を検討し、計石小学校跡の活用を含めた地域の活性化につながるよう努めていきたい。

計石温泉センターの改修計画は

質

当温泉センターは、町の温泉施設の中では、利用者も多い。町内外からの利用者も多く、地元で親しまれ、人気のある施設である。しかし、築後19年が経過し、老朽化が見られる中で、利用客数が減少傾向にある。減少の要因の一つとして、施設の老朽化が考えられると思うが、改修などの計画はないのか。

答

町長

計石温泉センターは、海底から噴出している温泉を、直接くみ上げた珍しい温泉として利用されている。現在のところ、老朽化による改修の必要性は感じていない。修繕、部材の交換は必要に応じて対応している。

認知症対策の取組は

質

認知症は、介護をする家族にも大変な負担がかかっている。このような中、本町では、町づくりの指針である総合計画の施策の大纲の一つに「人にやさしい快適なまちづくり」を掲げて、

その中で全町民の健康づくりを推進されている。本年4月には、芦北町健康づくり推進条例が施行され、今後の事業展開が期待されているところである。町内の認知症患者について、把握をしているのか。

答

住民生活課長

認知症患者数は、平成25年3月31日現在で、590人である。

質

認知症に係る取組として、どのような事業を実施して来たのか。

答

住民生活課長

施設整備については、介護保険事業計画に則り、今年度グループホーム3ユニットを増床し、10ユニット90人の入所が可能な体制が確立された。

ソフト面では、認知症サポートの養成推進や認知症についての学習会、認知症予防教室を開催している。

今後は、健康づくり推進運動の全町展開の中で、認知症等の疾病予防に努めるとともに、地域包括ケアシステムを構築することが大事と認識しており、介護基盤の整った町づくりに取組んでいきたい。



寺本順一議員

一般質問

ふるさと納税どうする！

ふるさと納税については、2008年、国は地方間格差や過疎などによる税収の減少に悩む自治体に対しての格差是正を推進するために創設された制度である。

5年が経過した節目の年に当り、この制度に対する本町の取組について質問する。

質

答

町長

寄附者との関係づくりのためにどのような取組を行っているのか。また、県内では約70%の自治体が寄附者に対してお礼の気持ちと関係づくりのため、特産品を贈っているが、本町には多くの特産品があるが、寄附された方々へのお礼の気持ちと今後の関係づくりのため、特産品を贈る考えはないか。

さらに、この制度が導入されてから5年が経過しているが、制度が十分活用されていると考えるか。

答

企画財政課長

本町では、制度導入以来、平成20年度から平成25年11月までに延べ43件885万5千円の善意の寄附が寄せられている。

また、寄附金は一般財源として、芦北町総合計画に揚げる6つの分野で有効に活用させていただいている。このふるさと納税制度をさらに活用していただくために、今後の取組としては、成人式とか、商工会等々がふるさとパツクの発送をされており、そういった際に啓発用のパンフレットを同封して啓発を図りたい。

質

なお、納税者の方に御礼状を発送する際に、寄附者紹介者カードを同封している。今後PRをしながら、検討していきたい。

本町には多くの特産品があり、町の特産品をお礼として届けば、寄附された方々に喜んでもらい、寄附者との関係づくりの構築も出来る。寄附者が増えることにより、町の財源確保、特産品の宣伝にもなる。一生懸命頑張る町と、そうでない町とでは、格差が拡大するばかりで、この制度をいかしきれないまま終わってしまうのではないかと懸念している。今からでも遅くない。現状に甘んずることなく、何らかの対策を講じることを願う。

答

町長

私も、ほかの分野で知恵を出しているような工夫をしながらやっている。自治体間の比較は、総合的比較をしていただき、それぞれの持ち味を出して取組んでいきたい。

県道二見田浦線改良工事の推進を

質

県道二見田浦線改良工事については、二見区間が1,300mで、現在、埋立許可の申請中であると聞いている。

予想では、順調にいくと2,3年後の工事着工になるのではないかとと思われる。これまで国・県の予算配分からすると、約13年ぐらいかかるのではないかと予想される。

このような中で、八代市は今年9月に新市長が誕生し

答

町長

た。この節目にあたり、新市長と八代振興局へ要請する考えはないか。

県道二見田浦線改良工事については、これまで議会において幾度か説明したとおり、早期の完成がなされるよう関係各所に対し、さまざまな活動を行っている。

今後も熊本県及び八代市のみならず、多方面に対し強く働きかけを続けていきたいと考えている。



県道二見田浦線

瀬戸石ダム水利権更新を どう思う！



坂本議員



和田口付近

質

12月3日電源開発株式会社は20年の水利権更新を国交省に申請した。町長は、地元は賛否両論あると述べられたが、流域住民の声をどのような形で聞かれたのか。

答

町長

流域の知己の方々から聞いている。

質

国交省九州整備局が電源開発株式会社に平成25年度利水ダム定期検査で、安全性上問題ありという通知を出していた。早急な対応を必要とするという事実を知っていたか。

答

町長

公表されてなく、新聞紙上で知った。住民の安全、生命を守るためには早急に、堆積

土砂の除去とか崩壊箇所の改修を強く国交省にお願いしたい。撤去問題とは切り離して考えたい。

若者の定住・受入対策をどう考える

質

少子高齢化が進む中で、若い世代の人々が町に残って安心して住めるような町づくりは大きな問題である。若者が定住し、転入し住み続けるためにどのような対策を講じているか。また、人口増と町の活性化の対策をどう考えているのか。

答

町長

町の活性化で最も効果的なものは雇用の確保と考える。

質

子育て世代や若者が魅力を感じるようなまちの情報を全国に向けて積極的に発信する考えはないか。

答

総務課長

ホームページをはじめ、あしきた親善大使によるPR、マスコミを活用した各種イベント、うたせ船等観光情報の配信、また、デコポン、サラたま、温泉塩などの特産品による情報発信も行っている。

質

若者の定住促進や少子化対策を進めるために、町営住宅の建設に力を入れる考えはないか。

答

建設課長

芦北町公営住宅等長寿命化計画を基に、建て替え、維持管理、用途廃止等を計画しており、現在新しい町営住宅の建設は考えてない。

水保病被害者救済の対策を

質

昭和44年12月以降に生まれた人たちは、特措法で救済対象から外されていることについて町長の認識は。

答

町長

昭和44年12月以降に生まれた人につきましても、水銀値の科学的データなど、いくつかの条件が揃えば、救済申請は可能であったと聞いている。

質

救済対象から外された人の中に、へその緒のメチル水銀濃度の水銀値が高い人がいることを承知しているか。

答

町長

町には情報が入ってなく、承知をしていない。

公共交通機関の確保は

質

田浦地区は全域にわたって集落内への公共交通機関が少ない、抜本的な対策を講じる考えはないか。

答

企画財政課長

新たな公共交通機関の設置は考えていない。

質

熊ヶ倉地区から古道地区まで走っているスクールバスに、熊ヶ倉地区住民が乗れるような考えはないか。

答

教育長

スクールバスはあくまでも遠距離通学をする児童・生徒の足を確保するための運行であり、地区住民の乗車は考えていない。

答

企画財政課長

ツクルバスは、九州産交バスの赤字補填補助金の削減のためと、廃止した既定の路線バスの代行手段である。また、この区間は路線バス区間ではないために運行していない。



古村議員

一般質問

重要路線の改良工事は 進んでいるのか！

質 町道射場芦北線の改良工事の進捗状況はどうなっているか。

答 町長

佐敷駅周辺道路の渋滞緩和や安全性の確保を考え、早期に完成させたい。しかし、大きな事業となるので慎重に検討してきた。新規路線の案が出来たので、来年度から改めて事業を実施する。

答 建設課長

全延長は、芦北石油前交差点から平生橋前国道3号線までの2、127mで、第一期工事はスカイドーム下から、芦北学園（くまもと芦北療育医療センター）前までの未改良区間で、平成26年度から用地交渉に入る。二期工事は、芦北学園前から平生橋前国道3号線までの延長1、005mであり、事業全体の進捗状況に合わせて計画して行きたい。また、事業費は、一期工事が約13億円で、65%補助の社会資本整備総合交付金事業での実施を計画している。二期工事は約4億円程度で、総事業費は約17億円となる。

質

地元及び地権者への説明会の計画はあるのか。



町道射場芦北線

答 町長

事業実施段階になれば十分説明をする。

答 建設課長

事業実施に先立ち、用地測量が必要となる。測量完了後は結果を示したい。

質

的場踏切は通行が多い。今回の改良工事で、利便性と安全性を確保出来ないか。

答 建設課長

現踏切を移動する計画も当初はあったが、鉄道と国道が近すぎるため、現踏切を拡幅する計画である。

質

幅員が6・5mの計画だが、車両制限はあるのか。

答 建設課長

幅員6・5m、片側2・75mで2車線になる。サイドに2mの歩道を設置し、道路敷として約10mの広い道路となり、大型車両も通行可能となる。

質 計画通り5年後に完了する様に望むが。

答 町長

重要路線と認識しているので計画通り進むように努力する。

大気汚染物質への対応は

質

PM2・5による健康被害が心配される。特に次代を担う子どもの健康を守ることは大事なことであるが、PM2・5が基準を超えた時、町民に対して情報はどうに伝えるのか。

答 住民生活課長

注意喚起情報が出た時点で防災行政無線にて知らせている。また区長会や、まちだより等で、全町民に注意喚起情報の伝え方も説明している。

質

保育所、幼稚園、小学校の屋外活動はどのような対応をとるのか。

答 教育長

注意喚起が予測される場合は、情報の把握に努め、基準値を超えた場合は、園長、学校長の判断で屋外活動を取りやめたり、窓を開けないなどの措置をしている。やむを得ず屋外活動を行う場合はマスク着用などの対応をしている。

答 福祉課長

町内各保育所も基準を超えれば屋外活動をやめ、必要に応じマスクも着用させている。

質

PM2・5の観測器具を設置する考えはないか。

答 教育長

県の観測所が小田浦公民館跡地に設置されている。これで十分だと考えている。

質

PM2・5の問題は全国的にも対策が十分でないと思う。本町も高い関心をもって取り組んでほしいと思う。

答 町長

対策については、我が国だけでなく、韓国、発生源の国でも重要な課題として取り組んでおり、国際的な働きかけも必要だ。我が町で出来る対策については今後も努力したい。

ふるさと納税制度を問う！



平松議員

多くの国民が、地方のふるさとで生まれ、教育を受け、育ち、進学や就職を機に都会へ出てそこで納税をする。その結果、都会の公共団体では税収を得るが、彼らを育んだ「ふるさと」の公共団体には税収はない。

そこで今は都会に住んでいても、自分を育んでくれた「ふるさと」に、自分の意思でいくらかでも納税できる制度があってもいいのではないかと、言う問題提起から平成20年にこの「ふるさと納税制度」が導入された。

ただ、この制度のふる里の概念や定義が「ふるさと」として自分が生まれ育った地域や教育を受けた地域、両親の出身地など幼少期の自然体験の舞台となった地域等であるが、今回のふるさととは特定せず納税者の意思に委ねられている。

芦北町でも芦北町で生まれ都会で生活している人が相当数おられ、また、芦北町の取組を応援したいと思っている人が相当数おられるのではないかと思います。

そこで今回は「ふるさと納税」について質問する。

質

この制度の開始から早5年、このふるさと納税制度に対して町長はどのような認識を持っているか。また、対応してきたか。

答 町長

ふるさとの町、応援したい町に、自らの意思で納税先を選択できる制度であり、地方の町にとっては有り難い制度と認識している。対応については、御寄附をいただいた方々に対し、御礼状の発送と広報あしきたを毎月発送している。また、年1回季節の便りとして本町の特産品を届けている。

質

現在ふるさと納税に対してどのようなPRをしているか。

答 企画財政課長

本町のホームページや、ふるさと寄附金県市町村推進連絡会議による情報発信を行っている。



(ふるさと納税リーフレット抜粋)

質

全国自治体では様々な対応（特典）等がなされている。

芦北町の地元産業の活性化にもつながるため、一定金額以上の寄附者に対しては地場特産物のお返しなど特典を設ける考えはないか。

答

企画財政課長

他町村では寄附金額により特産品を送っている所があるが、寄附者の善意を大切にすることを第一とし、特産品を送ることはしていない。

質

芦北町をふるさとに持つた町外在住者へのアピールも含め、各種団体が参画した検討委員会（仮称）などを計画する考えはないか。

答

企画財政課長

町内で既に郵便局や商工会などによるふるさと芦北をアピールする様々なサービスを実施されている。また、ふるさと住民登録制度も制定されている。まずはこれらを活用し、各種団体と連携を深め町外在住者へのアピールを検討していきたい。したがって現在新たな検討委員会設立の構想は持っていない。

質

町長はこの制度をいかしきれていないと思う、制度に対する認識不足もあるのではないかと、町長の対応はどうか。

応が後手にまわっているのではないかと。

答 町長

後手に回っている認識はない。過熱気味の贈答合戦には加わりたくない。

質

納税者も地元も地場産業も非常に得をする。どんなに実行することにより地元の活性化につながる。この事業は職員の企画力、資質の向上にもつながるが町長の考えはどうか。

答 町長

言われなくても分かっています。

質

町長は職員のやる気をおこす必要がある。芦北町をなんとかしたいと思う職員はたくさんいる。職員が働きやすい環境を考えるべきではないか。

答 町長

ふるさと納税制度は地域をおこすとか、町をPRする手段の一つではあるが、産業を興し、町を活性化し、財政を健全化し、より強固にしていく。これだけにシフトしていく訳にはいかない。そのため、自然体で臨みたい。



川尻議員

瀬戸石ダムの存続どうする！



水位低下中の瀬戸石ダム

質

国・県球磨川流域12市町村による「ダムに頼らない治水を検討する場」の協議内容を具体的に明らかにしたい。

答

副町長

治水計画で、瀬戸石ダムは

質

本町として、基本的考え方、方針はどうか。

既在の施設として位置付け、河川の土砂掘削・堤築、宅地嵩上げ、水田を利用した遊水地等の対策が示されている。ダム撤去、存続については協議していない。

答 町長

町としては国・県の動向を見守らせていただくこととしている。

政府の教育行政改革案どう受け止める

質

文部科学省が進める教育行政改革案で、自治体の首長を地方教育行政の最終的な執行決定権者とする案に対して、本町教育委員会、また、町長としてどう受け止めているのか。

答 教育長

首長が地方教育行政の最終的執行決定権者となることにより、責任の所在が明らかになるとともに、行政と教育が一体となり、より町の特色をいかした教育の推進が可能となると思う。

答 町長

首長と教育長、教育委員会がいい距離感で、より地方の特色をいかした教育推進が図られるような制度を望む。

質

より具体的に、教育長を教育行政の責任者として位置付け、さらに首長に教育長の任免権を与える案に対して、教育委員会として、町長としてどう受け止めているのか。

答 教育長

議会に同意を得ることになり、教育長の資質・能力チェック機能も担保されることになる。

答 町長

議会で同意いただくことで、一体性・一体感は出てくる。一方で、首長が変われば教育行政が変わる面もあると思う。問題が生じれば責任を取らざるを得なくなる。前向きに受け止め流れを静観したい。

学校図書の選定の方法は！



林田議員

質

今年度、学校図書費は当初予算で小・中学校合わせて50万1千円の増額となっており大変喜ばしい。図書選定はどのような基準でどのように行っているか。

また、教育委員会は図書選定に対してどのようなかわりを行っているか。

答 教育長

各小・中学校で行っている。図書担当の職員が指定図書など勘案し、図書リストを作成し、最終的に学校長が決定している。選定にあたっては、教師が読ませたい本、児童生徒が読みたい本を選んでおり、明確な基準は設けておらず、各学校長の裁量に委ねている。教育委員会は、年度当初、各学校に図書予算を割り振り、その購入リストが上がって来るので、納入業者を決定し、各学校に図書を納める事務を行っている。

松江市教育委員会の件では、このような重要案件等については、教育委員会会議において慎重に協議し、教育委員の共同理解のもと教育行政を進めていく所存である。

湯浦温泉センター改築工事の進捗状況は

質

趣のある温泉施設が完成しつつある、それに相応しい看板の設置や、名称は考えているか。

答 商工観光課長

現在、進捗率70%。今後は



湯浦温泉センター

外構工事や建築工事の進捗状況に合わせて、建具、照明器具の取付け、貯湯タンク、給水・給湯設備の施工を行う予定。

看板設置は湯浦の温泉の街並みに合うものを場所等含めて考えているが、名称はこれまで馴染み親しんできた湯浦温泉センターを引き続き使用したい。

温泉井戸掘削工事の進捗状況等は

質

ヘルシーパークの温泉井戸掘削工事の進捗状況はどうなっているか。

答 商工観光課長

5月2日に契約を締結し、計画の250mの掘削を完了したが、32・9度と低温であったことから、9月に増掘申請を行い、温泉審議会を経て、11月21日に許可を受け掘り進めている。

質

ヘルシーパークのうたせ湯とボディーシャワーが止まり、施設が老朽化し、修繕箇所も増えている。今後湯量も増え新しくなるが、足湯なども検討し、改修時期に来ていと思う。また、健康を推進する芦北町として、隣接した温泉プールと連携した取組や考えはないか。

答 商工観光課長

昭和60年に開設し26年経過しているため、修繕箇所も増えているが、修繕や交換で賄えているので、今のところ改修計画は考えていない。

温泉プールとヘルシーパークを利用される方には割安となる共有券がある。その周知を図っていく。



寺本修一議員

一 般 質 問

町内の県道改良工事の 進捗状況と見通しは！



県道球磨田浦線

質

熊本県の財政の厳しい状況下で、芦北地方への予算配分が激減している中ではあるが、町内の県道芦北

坂本線、二見田浦線、球磨田浦線の改良工事の現在までの進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。

答 町長

いずれも本町にとって重要な幹線道路であるため、一日も早い完成がなされるよう、今後もこれまで同様、県に対して要望を継続していく。

答 建設課長

まず、芦北坂本線については、大型車両の通行が困難な箇所や急カーブ箇所の解消を重点に工事が進められており、平成28年度に完成の予定となっている。

次に球磨田浦線については、拡幅及び急カーブの解消が計画されており、本年度に工事着手され、平成27年度に完了予定となっている。

また、二見田浦線については、埋立許可申請中であり、許可がおり次第芦北町側を工事着手し、三年間程度で完成予定となっている。

質

二見田浦線並びに球磨田浦線について、未改良区の大部分が八代市管轄である。

八代市は新たに中村市長が誕生し、改良工事の進捗の気

答 町長

運が高まったと思うが、今後の対応策をどう考えているのか伺いたい。

答 建設課長

八代区域を要する二路線については、八代市長とも連携しながら、事業の重要性を強く訴えていきたいと考えている。

二路線の残事業は、いずれも八代市管内が主となるため、今後も引き続き、芦北地域振興局と連携し、県及び八代市等関係機関と協議調整を行っていく。

議員視察研修報告

期 日：平成25年10月21日～23日
 所：①新潟県長岡市（危機管理防災本部）
 ②新潟県新潟市（議会委員会室）

①中越大震災の経験をいかした防災体制の強化について

が図られており、近年の異常気象は、いつ・どこで起こるかわかりません。本町も防災体制の強化に対してさらなる対応を図っていかねければならないと痛感しました。

②新潟フードバレー構想について

《フードバレー構想》とは豊富な農林水産物をいかし、食品・バイオなどの研究開発機能や、企業を集積させる《フードバレー》の形成を推進するため、今後の目指すべき姿や取組の方向性を示す事業です。

今回、熊本県南地域（八代地域、水俣・芦北地域、人吉・球磨地域）において、平成25年に協議会が設置されたことから、先進地である新潟市を視察研修しました。

新しい食ビジネスの創出に向けて、地域内・外のネットワークを強化し、高付加価値で国際競争力のある商品等を持続的に市場に送り出し、海外を視野に入れて新市場の開拓を目指していました。

本町の議会としては、県南地域連携としての構想であり、県を中心に推進体制の構築を図り構想実現に向けて対応すべきと感じました。

平成16年10月23日（土）午後5時56分M6・8という新潟県中越大地震発生の教訓を踏まえ、『日本一震災に強い都市を目指して』防災体制強化に向けて、5つの柱で取り組まれていました。

- 一、地方防災計画の見直し
- 二、各種防災対応マニュアルの作成
- 三、市民向け防災パンフレットの作成
- 四、防災情報伝達の整備
- 五、避難所環境の整備

特に、災害対策本部会議室に最新技術システムが整備されており、情報・伝達・発信が的確に対応できるものと強く感じました。

また、地域の避難所として、すべての学校が整備され、市民防災公園は多目的機能を備えた公園として災害時には、1万人を3日間収容できるシステムであり、旧長岡藩《米百俵の精神》の教えが根付いていました。大震災から8年が経過、この間防災体制の強化



長岡市での視察研修



新潟市での視察研修

広報特別委員会視察研修報告

平成25年11月20日に議会広報特別委員会による視察研修を実施致しましたので、その内容等につきまして報告致します。

視察研修を行った鹿児島県肝付町は、人口や予算規模、産業等に加え、合併年度や二町合併した点等についても本町とよく似た町でした。

広報委員については、議会運営委員が広報委員として編集に携わっておられました。広報紙の紙面は、全ページカラーで読みやすく、レイアウトや字の大きさなどにも工夫がなされており、大変参考になりました。

また、編集作業についても議会事務局に頼らず委員だけで編集されているとのことでしたが、議会が終わってから発行までの期間も短く、ベテラン議員ならではの感心しました。今回の視察研修で学んだ点を、今後の紙面づくりにいかすと同時に、本町の議会だよりも全ページカラー化に向けた取組が必要な時期にきていると感じました。



肝付町での視察研修

町村議会広報研修報告

平成25年11月21日に熊本県町村議会広報研修会が、熊本県市町村自治会館で開催されました。

講師には、芦北町出身で熊本日日新聞社NIE専門委員の越地真一郎氏をお迎えして研修会が行われましたが、今回は例年と違い、二部構成で実施されました。

一部では、『伝える』ことを目的として委員のプレゼン力を磨くために、各グループに出されたテーマについて考え、発表することで物の見方や考え方、そして、伝え方を教えられるました。

二部では、広報紙のクリニックが行われ、事前に提出されていた各町村の広報紙について、一長一短のワンポイント講評がなされました。

全部で、21町村の広報紙が講評されましたが、それぞれに良いところ、悪いところが指摘され、会場からは笑い声がでるような楽しいクリニックとなりました。

今回は、本町の広報紙を提出してなかったため、講評をいただけなかったのが残念でしたが、分かりやすく大変参考になる研修会となりました。



広報研修会

議会めぐり

- 10月11日 広報特別委員会
21日 議員視察研修(～23日)
(新潟県長岡市、新潟市)
31日 熊本県町村議会議長会議員研修(熊本市)
- 11月 1日 苓北町議会視察研修来庁
5日 鹿児島県肝付町議会視察研修来庁
5日 南九州西回り自動車道熊本県建設促進
期成会要望活動(福岡市)
12日 文教厚生常任委員会
13日 第57回町村議会議長会全国大会(東京)
14日 水俣・芦北地域振興推進協議会要望活
動(東京)
14日 議会運営委員会
20日 広報特別委員会視察研修(鹿児島県肝付町)
21日 熊本県町村議会議長会広報研修(熊本市)
26日 熊本県後期高齢者医療広域連合議会定
例会(熊本市)
- 12月 3日 総務常任委員会、建設経済常任委員会
6日 文教厚生常任委員会
11日 議会運営委員会、全員協議会
17日 議会定例会(議案審議)、文教厚生常任委
員会
19日 議会定例会(一般質問)
20日 議会定例会(一般質問)、広報特別委員会
25日 水俣芦北広域行政事務組合議会
25日 熊本県町村議会議長会第4回理事会
(熊本市)

次の議会は3月上旬の予定です。

肝付町議会が視察来町



平成25年11月5日、鹿児島県肝付町議会から視察研修のため訪問され、藤井議長が出張のため寺本副議長が対応しました。

今回の視察は、「温泉施設の管理運営状況について」の研修で、大野温泉センターや御立岬温泉センターの管理・運営等について両町の現状や管理運営方法を比較しながら活発に質疑応答がこなわれました。

石川地方町村議会議長会が視察来町



平成26年1月24日、福島県石川地方町村議会議長会から視察研修のため訪問され、藤井議長、寺本副議長、宮尾委員長が対応しました。

今回の視察は、「町づくり支援事業」「議会運営」「メガソーラー」「デコポンの生産と販売」についての研修で、女島のメガソーラー施設とファーマーズマーケット「でこぼん」の現地視察もおこなわれました。



議会広報特別委員会

委員長	宮内道則
副委員長	平松洋一
委員	川尻成美
宮尾秀行	
元山秀志	
林田耀宏	

年末は雨が多かったものの年が明けてからは晴れが続いた。果樹農家にとっては、収穫など一番忙しい時期である。出来ることであれば1日が過ぎ去る時間を少しでも引き止めておきたい。

今年は町議会の改選である。それと共に私達広報特別委員会も今回が最後の広報紙作りであった。皆が一番願っていることは、町民にとって、分かりやすく読みやすい広報であり、毎年研修会に参加したり、他自治体を訪れ勉強し研鑽してきた。

議会・議員の活動をより御理解して頂き、議会の傍聴などにも足を運んでもらえらばと思う。新年度の広報紙はよりカラフルになると考えている。新しい広報委員が担当する広報紙に期待してほしい。

(宮尾)

編集後記



この用紙は再生紙を使用しております。